

審議会会議録

会議名称	平成30年度第1回大滝区地域協議会		
議 題	報告第1号 大滝火葬場の休止について 報告第2号 平成30年度予算について（大滝区関係分）		
開催日時	平成30年 5月28日（月） 午後3時30分～午後4時20分		
場 所	伊達市大滝総合支所 2階大会議室		
出席者	出席者9名		
	所管部課名	大滝総合支所 地域振興課 地域住民係	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
【会議の概要】			
1. 開 会			
<p>地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告。</p>			
2. 市長あいさつ			
<p>大滝区も人口減少となっている。合併した村では、どの地域でも人口減少に苦しんでいる。また、子どもの減少に歯止めがかかっていない。昭和58年では伊達市で生まれた子ども数は400人であったが、近年は200人を切っており、一番苦しいのは子どもが生まれないということで、いずれにせよ人口トータルで大きな課題となっている。</p> <p>最近、伊達に企業が数社関心を寄せており、大滝にもいろいろな話が少しずつつきている。実際にそういう話になれば、まずは、自治会にお話しをさせていただくつもりである。</p> <p>産業構造が変わっていく中で、大滝をどうすべきなのかを皆様と考えていきたい。本日はよろしく申し上げます。</p>			
3. 会長・副会長選出			
<p>市長が仮議長となり会長・副会長の選出を行う。</p> <p>選出方法については、指名推薦の方法で選出との意見があり、会長には「宇佐美雅昭氏」、副会長には「中川 学氏」を推薦する意見があったことから決定する。</p>			
4. 会長あいさつ			
<p>今回で3回目の会長ということで、主に振興基金活用について協議をして参りましたが、今後も引き続きよろしく申し上げます。</p>			

5. 署名人の選任

審議に先立ち、会議録署名人に安食委員、宇井委員を指名

6. 議題

報告第1号 大滝火葬場の休止について
事務局より説明（別紙のとおり）

○質疑応答

会 長：質問はありませんか。
委員全員：<なし>

報告第2号 平成30年度予算について（大滝区関係分）
事務局より説明（別紙のとおり）

○質疑応答

会 長：質問ありませんか。
委 員：昨年、レイクカウチン町から来ることになっていたが、大滝の都合で来られなくなったと聞いている。今年はどうなるのか。
事 務 局：レイクカウチン町のほうの都合で来られなくなった。今年度に来たいとの要望があったが、今年度は、大滝のほうでレイクカウチン町に派遣する年であるので、今年度、来られても対応ができない旨を伝えている。
委 員：国際交流職員は、9月から来ることが決まったのか。
事 務 局：来ることが決った。来日に向け準備をしている。
委 員：大滝区振興基金はどのようなことに使えるのか。
市 長：合併する際、旧大滝村の財政調整基金などの基金を大滝区振興基金として積んで、大滝独自の事業に対して支援を行っている。合併したことで、事業を取りやめないようにし、旧伊達市では行っていない事業に対して基金を使っている。
委 員：大滝区振興基金対象以外の事業は、伊達と同じく共通の事業になっているのか。
市 長：事業内容によっては、共通の事業で行っている。
会 長：基金が3億円位あった頃は、どんどん使っていたが、湯水のように使うと基金が枯渇してしまうので、市の一般財源のほうで対応してもらい、使う基金を少なくしている。従前は基金で行っていた事業もあるが、現在は市の一般財源で対応している事業もある。
委 員：再資源化センターについて、堆肥の販売収入はどのくらいか。
事 務 局：平成28年度では、1,123千円ほどです。なかなか大口の農家の方が買っていないのが現状である。
委 員：高齢者外出支援サービス事業について、もっとドアtoドアにして支援を深めることはできないのか。また、基金対象事業についてスポーツ・レクリエーション、生きがい、生活環境、社会参加などについてもあるが、新たに基金事業でやっていける可能性はあるのか。
事 務 局：高齢者外出支援サービス事業等については、社会福祉協議会に委託して行っている。要望があれば、自宅から優徳や支所などに送迎を行っている。ただ、伊達の病院までは行っていないが、自宅から最寄りのバス停までの送迎は行っている。事業について、何かあれば地域協議会で協議してから、予算の確保を行いたい。

市長：何年か前に、円山などを巡回して、伊達に行く実証実験を行ったが、ほとんど利用者がいなかった。これは、公共交通の関係であるが、バスも不便なところがある。国からの補助金が減ってきている。ここは旧胆振線の関係で基金があるが、7年に1回バスの更新を行っており、基金が底を打ち始めている。今年度、地域の公共交通の関係、資源の調査を行う予定である。

委員：基金の事業にも係わらず、大滝でやりたいことがあればここで問う場としていいのか。

事務局：判断は行政が行いますが、そういうことになります。

委員：旧教職員住宅の老朽化が散見される。今後、建物を活用されるのか、使う予定がなければ、取り壊すなどとかの見通しについては。

市長：定住促進住宅を32戸建てた。最大48戸建てられる。企業と契約して貸し出し、公営住宅ではないのでコストが安くなる。いい場所があれば、空き家の用地を取得して建てていきたい。

委員：旧北湯沢小学校、旧大滝小学校もかなり老朽化してそのままとなっているが、取壊しとか活用の方法はないか。

市長：大滝に限らず旧伊達市も学校の統廃合によって、使われていない校舎があるが、壊していない。活用策の提案がくることに期待したい。

委員：閉校後の大滝中学校の活用策は。

事務局：教育委員会の財産であるが、支所でも再利用について考えていきたい。ご提案もいただければと思う。

市長：観光資源で活用するしかないと思っている。達南中も統合したが、活用方法が決まっていない。しかし、買いたいという業者もあるので、しばらくは様子見の状況である。大滝中学校の跡地は合宿関係で使えばいいのかと。金をかけないで活用したい。

委員：公営住宅の街灯の電気料は基金で負担できないか。

事務局：団地の内の電気料などの共益費は、入居者内で負担してもらっている。

7. その他

事務局：特にありません。

会長：ないようですので、以上で本日の協議会を終了したいと思います。本日は活発なご意見をいただきありがとうございました。

○閉会

平成30年度

第1回 大滝区地域協議会

平成30年 5月28日(月) 午後3時30分
大滝総合支所2階 大会議室

1. 市長あいさつ

2. 委員自己紹介

3. 会長・副会長選出

4. 議 題

報告第1号 大滝火葬場の休止について

報告第2号 平成30年度予算について(大滝区関係分)

5. その他

大滝区地域協議会委員名簿（平成30～31年度）

1. 地域協議会1号委員（公共的団体の役職者）

農業関係	松浦勝美	（とうや湖農業協同組合理事）
林業関係	安食恵	（胆振西部森林組合理事）
商工関係	元谷隆	（壮瞥町商工会副会長）
自治会関係	宇佐美雅昭	（大滝区自治会連合会会長）

2. 地域協議会2号委員（学識経験者）

福祉医療分野	中川学	（福祉施設職員）
教育分野	宇井尚	（大滝小学校PTA会長）
保健分野	塚田明美	（伊達市食生活改善協議会）
行政分野	今井良	（元地方公務員）

3. 地域協議会3号委員（公募枠）

石川嘉一	（会社員）
大沼健	（団体職員）
川田玲子	（主婦）
岩花幸子	（主婦）

大滝火葬場の休止について

1. 概要

大滝火葬場は、近年では年間数件程度の利用状況であるが、これまで伊達市の事業者へ火葬業務を委託して運営してきました。

今年度は、これまで継続して受託していた事業者の辞退の申し出があったため、市内で火葬業務を行う他の事業者2社に打診をしたところいずれも受託できないとの回答であったことから、4月～5月までの2か月間を臨時休業としながら近隣町の個人委託を含め委託先を探していたところですが現在まで見つかっておりません。

大滝火葬場の区民の利用状況は、年間数件である一方、伊達火葬場を利用している区民は年間20件程度となっています。

このことにより、伊達火葬場を利用する区民が大半を占めており、大滝火葬場については極少数に限られおり今後の利用増も見込めないことから6月以降は施設を閉鎖し休止とします。

年度	住基人口	死 亡 者 数	大 滝 火 葬 場利用数	利用者のうち大滝区 民（一般・施設）	火葬業務委託
25	1,182	28	3	2（一般2）	伊達環境管理(株)
26	1,164	26	5	4（一般2 優徳荘2）	伊達環境管理(株)
27	1,136	24	2	1（一般1）	伊達環境管理(株)
28	1,114	26	3	3（優徳荘3）	伊達環境管理(株)
29	988	16	0	0	伊達環境管理(株)

（他の市内事業者： (株)芙蓉 (株)伊達クリーンセンター）

2. 建物の概要

建設年：昭和56年度

構造：鉄骨造平屋建

建物面積：114.18㎡

建設金額：51,348千円

平成30年度予算について（大滝区関係分）

（単位：千円）

款 目	事 業 内 容	予 算 額		
総務費				
支所管理費	新規 新規	・ 支所庁舎等維持管理費	15,654	
		・ 非常用発電機整備工事	(5,940)	
		・ 耐震診断業務委託料、実施設計業務委託料 (平成31年度に実施予定の大規模改修工事に向けて行う)	(9,714)	
企画費		・ 国鉄胆振線代替バス交通対策経費 大滝区通学定期運賃補助 (伊達市～倶知安町間のバス通学利用者に対する通学定期の補助) バス待合所の除排雪業務委託等	6,819 (6,200) (619)	
		・ 国鉄胆振線代替バス運営費等補助金 代替バスの長期的安定運行と利用者の利便性確保のため、代替バス事業者に対し運営費を補助	10,189	
ケーブルテレビ事業推進費		・ ケーブルテレビ事業運営経費 番組制作等に係る委託料	29,531	
民生費				
障がい者福祉費		・ 大滝区幼児療育通園交通費補助金 対象者数 3人	210	基金事業
医療助成費		・ 児童生徒医療助成事業 受給者数 57人 件数 1,000件	1,200	基金事業
老人福祉総務費		・ 生きがい活動支援事業（大滝区生き生きデイサービス事業） 要介護等の認定を受けていない大滝区の在宅高齢者に対する日帰り通所サービスに係る経費	1,545	基金事業
		・ 生活支援事業（入浴、外出支援サービス、生活援助等） 高齢者に対する入浴、外出支援等の生活支援に係る経費	1,297	基金事業
		・ 高齢者福祉バス委託料 大滝区に居住する70歳以上の高齢者に対し、伊達市～倶知安町間の路線バス乗車料を助成	756	基金事業
		・ 大滝区敬老会開催経費 満70歳以上が対象	1,297	基金事業
衛生費				
健康管理費		・ 大滝区通院支援事業 市内病院等への通院費無料化に要する経費	690	
		・ 妊産婦健診通院交通費補助金 対象者数 5人	93	基金事業
農林水産業費				
畜産業費		・ 大滝有機物再資源化センター維持管理費	200	
		・ 大滝有機物再資源化センター運営管理委託料	21,911	
土地改良費		・ 大滝営農飲雑用水施設維持管理費	5,791	
		・ 円山地熱水供給施設維持管理費	8,268	

(単位：千円)

款 目	事 業 内 容	予 算 額		
商工費				
観光費	・ 大滝交流施設運営管理委託料	18,853		
	・ 大滝歩くスキーコース整備事業 コースのウッドチップ敷き直し(2.68km)及び路面整備、横断管等の入れ替えに係る費用等	3,602		
	・ 「研修の里おおたき」ブランド化推進事業 大滝区を「研修のまち」としてブランド化するため、平成29年度に作成した「大滝版企業研修プログラム」を活用した企業研修の参加誘致に伴う経費	2,732		
	・ 大滝ノルディックコース連絡協議会補助金 コースの知名度アップや地域活性化を図るため、行政や各種団体等の横の連携を強化するとともに、各種事業を実施する同協議会に対し事業費を補助	1,300		
	・ 大滝キャンプフェスタ補助金 大滝区の自然を活かした新たな観光資源の開発や観光地としての魅力を向上させるため、事業を開催する実行委員会に事業費の一部を補助	250		
教育費				
国際理解教育費	新規	・ ネイティブスピーカー(大滝区)活用事業	4,280	基金事業
		・ レイクカウチン中学生派遣事業	5,295	
学校管理費 (中学校費)	新規	・ スクールバス購入費	21,997	
基幹集落センター費		・ 大滝基幹集落センター運営管理費	6,448	
体育振興費		・ 中体連事業運営補助金(大滝中学校分)	350	基金事業
		・ おおたき国際スキーマラソン大会補助金	5,000	
		・ おおたき国際ノルディックウォーキング大会補助金	300	

大滝区振興基金対象事業一覧

事業名	事業区分	事業内容	事業実施年度	事業費の推移						
				平成26年度	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度
						予算額	決算額	予算額	決算見込額	
		基金利息		41,923	39,433	163,000	15,264	71,000	14,340	69,000
		寄附金			0	0	0	0	0	0
大滝区幼児療育通園交通費補助金	A	自宅から胆振西部児童サービスセンターまでの往復バス運賃の補助	H18～	0	0	79,000	17,600	142,000	99,820	210,000
高齢者入浴サービス事業	A	温泉施設までの送迎、入浴中の見守り等を行い在宅高齢者の閉じこもりを防止する	H18～	311,322	473,979	504,000	487,971	504,000	538,692	630,000
高齢者等外出支援サービス事業	A	病気による入・退院、福祉施設への入退所及び公的行事への参加等に係る移送サービス	H18～	312,296	220,832	396,000	168,508	297,000	191,168	297,000
高齢者生活援助事業	A	庭等の手入れ、屋根の雪下ろし、除排雪作業の支援	H18～	231,450	104,924	370,000	132,698	370,000	188,246	371,000
生き生きディサービス事業	A	施設に通所し、食事、入浴のほか、レクリエーションを通じ、要介護状態への予防を図る	H18～	472,490	551,239	1,253,000	518,815	836,000	852,414	1,391,000
大滝敬老会開催経費	A	老人に敬意を表し、敬老会を開催する。	H18～	225,742	217,772	397,000	237,882	364,000	225,911	418,000
高齢者福祉バス委託料	A	70歳以上の高齢者に対し、路線バスの伊達、俱知安間を無料にする	H18～	756,000	756,000	756,000	756,000	756,000	756,000	756,000
児童生徒医療費助成	B	中学生以下の自己負担分医療費(保険対象分)を保護者に助成する	H18～	875,252	720,032	1,200,000	658,832	1,200,000	467,218	1,200,000
妊産婦健診通院交通費補助金	B	妊産婦健診等に係る通院交通費として自宅から伊達及び俱知安間のバス運賃の補助	H18～	56,760	45,820	149,000	72,660	149,000	16,680	93,000
レイクカウチン中学生派遣事業	D	中学1・2年生をカナダレイクカウチン町に派遣する	H18～	8,015,238	0	7,526,000	5,940,159	0	0	5,295,000
レイクカウチン町親善訪問団交流事業	D	訪問団員と市民の交流を通じて、両市町の国際親善に資する	H23～	0	800,636	0	0	1,365,000	0	0
大滝中学校中体連事業運営補助金	D	中体連に上位入賞者が出場する全道大会の派遣に係る経費の一部を補助する。	H25～	252,200	271,260	350,000	279,200	350,000	223,934	350,000
大滝国際フレンドシップクラブ創立20周年記念事業補助金	D	初代及び2代目AETをレイクカウチン町・伊達市親善訪問団交流事業に合わせ招聘する事業に対し補助する。	H27		100,000					
合 計				11,508,750	4,262,494	12,980,000	9,270,325	6,333,000	3,560,083	11,011,000
基金残高		当初残高→	299,884,620	156,688,258	152,465,197		143,210,136		139,664,393	128,722,393

※基金残高は見込み額

事業区分

A	福祉		2,309,300	2,324,746	3,755,000	2,319,474	3,269,000	2,852,251	4,073,000
B	保険・医療		932,012	765,852	1,349,000	731,492	1,349,000	483,898	1,293,000
C	労働		0	0	0	0	0	0	0
D	生涯学習		8,267,438	1,171,896	7,876,000	6,219,359	1,715,000	223,934	5,645,000
E	スポーツ・レクリエーション		0	0	0	0	0	0	0
F	生きがい		0	0	0	0	0	0	0
G	生活環境		0	0	0	0	0	0	0
H	社会参加		0	0	0	0	0	0	0
I	地域活性化		0	0	0	0	0	0	0
J	人材育成		0	0	0	0	0	0	0
K	その他		0	0	0	0	0	0	0
	合 計		11,508,750	4,262,494	12,980,000	9,270,325	6,333,000	3,560,083	11,011,000